

ゆくつと

No.022 平成19年1月1日発行
千葉市少年自然の家
〒297-0217
千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野1591-40
TEL 0475-35-1131 FAX 0475-35-1134
URL <http://www.chiba-shizen.jp>
発行人 赤澤 晃 (毎月1日発行)

新しい年のスタート、どんな事にチャレンジしようか考え中!

子どもたちに豊かな体験を

千葉市の小学校は5年生が移動教室で、6年生が農山村留学で千葉市少年自然の家を利用します。子ども達の体験活動について、千葉市小中学校長学校運営協議会 校外学習委員会(小学校部会)委員長の畫間初枝さんにお話を伺いました。



小鳥のさえずりに耳を澄まし、色づいた木の葉に心をときめかせる子、手と足の位置を確かめながらクライミングウォールに挑戦し「やった」と歓声をあげる子、かまどに火を起し煙を避けながら作ったカレーライスを「おいしい」とほおぼる子・・・「千葉市少年自然の家」がオープンして以来、たくさん子どもたちが豊かな自然と整備された環境の中で体験学習を楽しんでいます。



市内の小学校5年生を対象とした「移動教室」では、学校から自然の家に「教室」を移して、四季折々の自然観察や野外活動、素材を生かしたもの作りなど日常の授業と関連させた体験活動を展開しています。

慣れ親しんだ環境を離れ、テレビもゲームもない自然の家の生活は、否応なしに子どもたちを自然の中に取り込んでいきます。自然体験が少なくなった子どもたちですが広い敷地内で夢中になって活動するうちに、本来持ち合わせている冒険心や探求心、感性や創造性までもが引き出され目が輝いてきます。と同時に仲間と過ごす時間は、互いのよさをに気づき、コミュニケーションを深める中で思いやりの心がはぐくまれ、大切な友達の存在を確かめ合うことができます。



6年生対象の「農山村留学」では、自然の家を中心に周辺地域にも活動の場を広げて子どもたちの主体的な計画のもと多様な活動やふれあいの幅を広げています。

「どの子もいい顔してる」先生方の声である。五感の鋭いこの時期に豊かな自然空間、のびのびと過ごす時間、寝食を共にする仲間の中で、どれほど豊かな体験を積み重ねてあげることができるかは私たち大人の使命です。生き生きと活動するたくましい子どもたちの姿を求め、少年自然の家と連携を深めて心に響く魅力ある活動を子どもたちに与えていきたいと思えます。

二つの力

千葉市少年自然の家 所長 赤澤 晃



新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、利用者の皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

千葉市少年自然の家は一昨年4月にオープンし、爾来、ご利用の皆様や関係各位の方々より力強いご支援、ご指導を賜りまして心より感謝申し上げます。また深いご理解、温かい励ましに支えられ運営できましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、桑原武夫先生(京都大学名誉教授)は、「立派な人の条件は何か」と尋ねられて①自分でごはんが炊けること、②山の中で迷っても自分の進むべき方向を見いだせることであるとご答えになり、この2つを与えてあげることが

愛情であると結ばれました。実にシンプルではありますが、明快な回答であり且つ含蓄のあるお言葉のように思えます。

これらは、単に字面上の自分でごはんが炊けるということや山の中で読図やルートファインディングができる能力ではなく、精神的にもまたいろいろな面においても自立した生活や人生を営む力を持っていることと、迷ったり悩んだり苦しんだとしても自らの力でその困難から脱却し克服していく強い意志力、決断力、行動力を持つことが立派な「人」の条件であるということをおっしゃりたかったのではないかと感じております。さらにそういった能力の育成、開発は親、学校、地域などの

愛情＝教育だと締めくくられたのだと思っています。

この2年、思いやりなどの豊かな心をはぐくみ、自立的な生活態度を身に付け、自律的な集団規範を形成していくプロセスを経験し、「人」としてまた同時に「人間」として自立的に生きる力を養っていくために、小さな体験をたくさん積んでいく機会を与えることが、千葉市少年自然の家に与えられた役割の一つと考えて運営に携わってまいりました。

本年もここで多くの青少年が「のびのび」「生き生き」成長することを願い、「技術」や「知識」を学ぶのではなく、「意欲」が引き出され、「知恵」を試す場として、さらに自分でごはんを炊く力、山の中で迷っても自分の進むべき方向を見いだす力の育成を念頭に、千葉市少年自然の家を運営して行きたいと考えております。そのために学校・団体などと連携し、「体

験することによる学び」を昨年よりも意図的・計画的に指導していけるよう職員の「ワザ」にさらに磨きをかけ、身に付けていきたいと考えております。

年頭に当たり、ご利用の皆様様の立場にたって、千葉市教育委員会と緊密な連携の下、さらに利用者の皆様様の期待と信頼に応える千葉市少年自然の家運営の推進に全力を傾注することをお誓いし、倍旧のご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



**千葉市内家族
平成19年度利用
受付開始**
詳しくは裏面をご覧ください